

小学校第4学年 造形遊びをする活動と、相互に関連する鑑賞の活動

【学習の方向性】	○材料や場所などを基に造形的な活動を思い付き、工夫してつくる。 ○活動したことで表現したもののよさや面白さなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。【A表現 (1) ア (2) ア】【B鑑賞 (1) ア】(共通事項)
-----------------	--

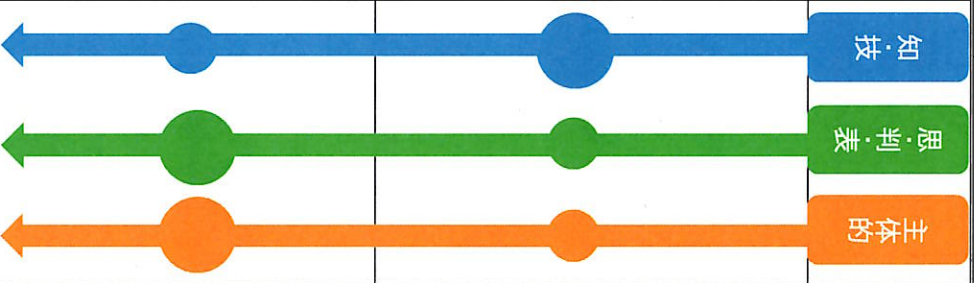
光とかげから生まれる形

【題材名】	～材料の形や光の色を組み合わせて、おもしろいかげをつくってみよう～ ○自分の感覚やかげをつくる活動を通して、形や色などの感じが分かり、身辺材と光・かげを組み合わせるなどして手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくるようにする。 ○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、材料と光・かげ、場所などを基に、造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えるときともに、自分たちの表したものの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げるようにする。 ○進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくり出す喜びを味わうとともに形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うようにする。
--------------	--

【題材の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 自分の感覚やかげをつくる活動を通して、形や色などの感じが分かっている。 材料と光・かげを組み合わせたなどして手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくり出している。 	<ul style="list-style-type: none"> 形や色などの感じを基に、自分のイメージを持ちながら、材料と光・かげ、場所などを基に、造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。 自分たちの表したものの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 	<p>進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組みようとしている。</p>

具体化した評価の例		知・技	思・判・表	主体的
	【評価方法】	知・技	思・判・表	
活動	<p style="text-align: center;">具体化した評価の例</p> <p style="text-align: center;">【評価方法】</p>	<p>知・技</p>	<p>思・判・表</p>	<p>主体的</p>
1	<p>○材との出会い</p> <p>○身近な材料を組み合わせて、かげのかたちづくりを楽しむ</p> <p>○できるかげの形や色を感じを見つける</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感覚やかげをつくる活動を通して、形や色などの感じが分かっている 材料と光・かげを組み合わせたなどして手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくり出している <p style="text-align: center;">【観察・写真記録】</p>	<p>思・判・表</p> <p>材料と光・かげ、場所などを基に、造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。造形的なよさや面白さなど感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている 【観察・写真記録】</p> <p>主進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組みようとしている 【観察・写真記録】</p>	
2	<p>○かげの組み合わせ方や色を考えて、かげづくりをさらに楽しむ</p> <p>○活動したことをお互いに見合う</p>			



ポイント

- ① 題材目標—評価規準—具体化した評価
- 題材目標をもとに評価規準を設定する

● どの資質・能力をどの場面で評価をするか考え、具体化した評価規準を設定する
 → この題材で、大きな○を設定するにあたり、
 1次の前半は材と触れ合うことから「形や色などの感じが分かる」の、知識・技能のうち知識を中心に、
 1次の後半あたりから徐々に活動が広がることから、「活動を工夫してつくる」の技能を中心に、
 2次の前半は、より考えながら活動を広げていくことから「活動を思い付くなど」の思考・判断・表現
 (共通事項や発想や構想に関わる資質・能力)を中心に、
 2次の後半で「自分の見方や感じ方を広げる」の思考・判断・表現の鑑賞を中心に、
 2次の前半から後半にかけて、粘り強く活動に取り組み様子を見取り、主体的に学習に取り組み態度を、
 ※小さな○は、指導に生かすための視点として。

② 資質・能力を育てるための手立て

